

第 1 1 回波賀中学校区幼保一元化に係る地域の委員会

と き：平成 28 年 7 月 26 日（火）午後 7 時 30 分～

ところ：市民センター波賀 2 階大会議室

発言者	議題・発言内容
事務局 会 長	<p><開会のあいさつ></p> <p>前回の会議を 2 月にしてから間が開いている。年度が替わり各団体の役員改選もあり、これまでの流れの確認や今後の進め方等を、前委員さんを含めて協議をお願いします。また、空白の副会長の選出等もお願いします。</p>
事務局	<p>平成 28 年度第 1 回目の委員会となります。2 月 9 日の 27 年度の最終の委員会から時間が経過しておりますが、新しい委員さんが決まったということで、今日の開催となっております。市の今年度の進め方を説明したいと考えています。2 月 9 日の委員会では、「今のままでいい」「急がなくてもいい」「次の世代が決めればいいのではないか」という意見もあり、平成 27 年度の波賀の委員会としては進んでいない現状です。しかしながら子どもの出生数が急激に減っているこの地域で、極端に言えば 1 人になってもこのままでいいのかということ。市としては、集団での子育て、質の高い保育、幼児教育の環境を作ることが地域活性化にもつながると考えます。今年度、市内全ての中学校区でこども園の運営法人を募集し、幼保一元化を進めたいと考えています。これまでは、学校規模適正化と合せて、市の北部から進めていましたが、このペースでは、山崎町にとりかかるまでにはかなり時間がかかるため、その間、3 歳児教育を待ってもらわなければいけないとか、老朽化が進んでいる園舎施設の対策の問題など、市内で差が生じるということが予想されます。同じ保育、幼児教育の環境を作る必要があることから、早く幼保一元化を進めたいと考えています。そのためには、まず運営法人を募り、具体的な経営、教育方針を持って地域に法人と共に説明に行きたいと考えています。応募がなければ最終的には市が責任を持つということで進めています。これまでの流れと違うと思われるかもしれませんが、本委員会でも幼保一元化は推進すべきであるのご意見をいただいております。運営法人を募集することは、それに沿うものと思っています。市内で同じ保育、幼児教育の環境を作るためにも進めさせていただきたいと思っています。本日は、これまでの経緯や今後の進め方についてご説明させていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>議事に入る前に、前回の委員会で協議を続けると決めていただき、役職が替わる場合は、新年度には新旧委員合同の委員会とするということに基づいて新旧の委員さんに集まっていただきました。初顔合わせの方もありますので、自己紹介をお願いします。</p>

事務局	<p><自己紹介></p> <p>副会長の決定について、前は自治会長から選出されたため、今回も同じでよいか。（異議なし）</p> <p>自治会長が別室で協議され、谷自治会の黒田自治会長が副会長に選任された。</p>
会長 事務局 会長	<p>これまでの状況、取り組みについて事務局から報告してください。</p> <p><別紙資料によりこれまでの流れについての説明></p> <p>平成 27 年度から委員となっているが、幼保一元化計画の推進については異議がないが、運営形態について色々と議論され、町内に社会福祉法人があるが、公立を望む意見も多い中、市の方針と一致しないという問題があり進んでいない。平成 27 年 12 月に千種こども園を視察して、平成 28 年 2 月の委員会では、もう少し周りの状況を見て、千種の運営も見ていこうという、積極的に進めていこうという意見がない中で、委員さんが何人か入れ替わる事態に至っています。これまでの確認と、何か質問があればお願いします。</p>
副会長	<p>教育委員会に聞きたいが、一宮、山崎の今の状況を聞かせてほしい。</p> <p>平成 21 年からこの問題を進めているが、あまりにも時間が掛かりすぎているので、進め方、説明責任に職務の怠慢があると思っている。幼保は反対があるために中々前に進めないという報道や、世論を真摯に受け止めながら、自分達が決めた舵の方向へ切ることの説明責任を果たしてもらいたい。新聞記事のことについても説明してほしい。</p>
事務局	<p>一宮北中学校区は、これまでも運営のあり方、開設の時期、設置場所を検討してこられました。いつまでも平行線をたどっても仕方がないので、より具体的に、建設的な議論をしようと、今年度より地域の委員会から協議会へと移行されました。一宮南中学校区は、地域の委員会で継続議論をしており、戸原地区は現在、ストップしているが、今年度には再開をしたいと協議をしています。どの地域も思う様に進んでいないのが現状です。</p>
副会長 事務局	<p>他地域と比べて波賀は進んでいるのか。</p> <p>どこの地域でも少子化の現状を踏まえて、幼保一元化のことについては一定の理解をしてもらっているが、運営のあり方の部分で教育委員会からの明確な説明が欠けている部分もあり、なかなか進んでいない状況です。それで前回までは、地域の委員会で認定こども園に向け、運営のあり方、実施の時期、実施の場所について、同意をいただければ、教育委員会が運営法人を募集し選定すると説明してきましたが、今年度からは、運営法人が決まらなると運営のあり方を具体的に示されないため、まず、教育委員会の責任として運営法人を募集し、選定し、同時に地域の委員会に諮り、最</p>

副会長	<p>最終的に同意が得られなければ、教育委員会の幼保一元化決定には至らない。少し進め方を工夫して進めていきたい。</p> <p>新聞報道に出たということは、方向性は既に決まっているので、いくら議論をしても方向を変えられないと思うが、今、言われたのは、ここで意見がまとまらなければ、新聞に書いてあった方向にはならないということか。一般世論は反対が多いから進まないと書いてある。</p>
事務局	<p>反対の声というのは公立を望むという部分であり、市は実績のある社会福祉法人に担っていただきたい。それに対してどういう反対があるのか、具体的な声に対して応えていきたいと考えている。声を聞くために運営法人を決め、具体案を持って、どこがいけないのかを諮りたいと考えます。応募が適格かどうかについては、地域の方も入ってもらう選定委員会で選定することになり、そういうことをしながら進めて行きたいと考えます。</p>
事務局	<p>この委員会では、運営のあり方、時期、場所について同意が得られれば幼保一元化を決定し運営法人を募集、選定、協議会の設置という説明をしましたが、運営のあり方の部分で協議が進まないため、今年度から、進め方に工夫をして、教育委員会が最終的な責任を負うことから、地域の協議と並行して認定こども園を運営する法人の公募に入らせていただきたいと考えています。まず、市内で保育所運営の実績がある社会福祉法人を対象に市内全ての中学校区で公募を行い、応募がない地域については、次に市内のその他の社会福祉法人、又は地域で今後設置される社会福祉法人に対して公募を行います。認定こども園運営法人選定委員会を設置し、法人からの事業計画書の審査をして中学校区毎に選定します。その後、法人と一緒にこんな園を作りたいという計画を説明させていただき、地域の委員会で意見を聞きながら、同意が得られれば、幼保一元化を決定し、協議会を設置して、新園開設をめざして行きたいと考えています。</p>
会 長	<p>未だに進んでいない委員会の役割について、運営のあり方、実施の時期が決まれば、実施の場所も自ずと決まってくるかと思えます。また、働いておられる女性の中で、子育て年代（30代）で7割が働いているという資料があり、働く女性にとって保育は非常に重要な位置付けになるので、その辺も含めて何かご意見はありますか。</p> <p>意見がないので、認定こども園設置のメリット・デメリットについて事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料により説明し、市側は、経費、質の向上、規模が問題で、保護者側は選択肢がなくなることが不安に思われています。しかし、教育委員会としてはそれよりも規模が大事だと考えており、公私連携であれば法人が保育料を勝手に決めたりできる仕組みになっていないので、コスト優先にはな</p>

前委員	りません。幼保一元化による適正化となりますと、波賀で1園の幼児教育保育施設となりますので、その中で行われる幼児教育保育については、市が今以上に積極的に関わるだけでなく、小学校や地域との連携も深める中で、今以上に地域で育てていただく、地域と密着した新しいこども園を提案させていただきたいと思います。
委員	<p>前回の会議から、教育委員会の進め方について、いきなり3つぐらい階段が上がった感じがします。昨年は、最後に終わった段階で様子を見ようということ、民営か公営かは委員会の中で話し合っ決めていこうという話で終わって、今年もそういうところから話がスタートするのかと思っていたのに、今日の資料では、もう民営化でまず募集しますになっていて、教育委員会の進め方がおかしいのではないかと思うのですが、去年委員会に出ておられた方はどう思われますか。また、千種のこども園を視察して、やっぱり民では不安が大きかったという部分が委員会の中でもあったと思います。保育所皆さんがそう思われているか分かりませんが、波賀にはみどり保育園しかないから、そこしか行くところがないからという意見が出ていたが、その中でこのまま行けば、みどり保育園で決定してしまうのではないかとこのところをもっと協議をするべきじゃないかと思えます。確か進め方を緩めるということではなかったでしょうか。</p>
事務局	メリット・デメリットは分かったけれど、公募は委員会の同意があつてからだと思ふのに、いきなり公募とはどういうことか。もう少し説明をしてもらわないと、今日の資料では同意を得られてからという言葉が抜けている。
前委員	昨年色々意見が出た中で、杉の子を見て不安があるということでしたが、それを解消するためには、実際の運営法人が決まらない限り、市だけの説明では解決することは難しいと思います。そのために公募ということになっております。市全体で見ますと、3歳児教育、幼稚園の問題等を、幼保一元化で進めて行くため、公募して運営法人を決めながら進めていくということが、山崎や他の地区でも必要と判断し公募としています。
事務局	公募してから委員会を再開するということですか。それは話がおかしい。それでは、委員会に出ている方が納得できないと思います。
委員	意見を聞くというのは、応募があつた運営法人を決める時に、委員会の意見を聞くということです。
事務局	課長が説明されたのは、去年の段階で、いつも波賀町は話が進まないの、教育委員会で良い案を出すのでそこから入りましょうということで、まず、運営法人を決めるので、委員会でイエスかノーかを決めてくださいと言われた様に感じたのですが、応募のあつた法人を委員会の中で否定す

事務局	<p>るのはなかなか難しい。去年も波賀町は一つの幼児教育なので、公立でという意見が出たのだと思います。メリット・デメリットについても、杉の子こども園を見て、まだまだ難しい面があるので、しばらく様子を見たいという意見だったのに、なぜ運営法人を決めるところから入るのが、去年から出ていた者にすれば、教育委員会と温度差を感じます。</p> <p>前回までの流れでは、この委員会で3つのことに同意がないと法人の募集選定の作業には移りませんと説明させていただきましたが、今日は、どこが変わるかということをもまず諮らせていただかないと、次の方法に行けないという思いでご説明させていただきました。地域の委員会とは並行してここの地域での幼児教育・保育の責任は最終的には教育委員会が負うものということで、認定こども園を運営する法人の募集と選定に入らせていただきたい。これは、波賀中学校区だけでなく市内全ての中学校区におきまして、一斉に入らせていただき、応募のあった法人に対し選定委員会に諮らせていただき、3つの視点で選定をします。ここでもし、波賀みどり保育園が手を挙げられたら、こんな園を作りたいという事業計画書が提出されます。それをこの場に持ち込んで議論をしていただき、最終的には地域の委員会で同意がなければ幼保一元化の決定ができないので、より具体的な案を示すことで、そのどこが悪いのか、次に行けるのかどうかということを諮らせていただきます。もう少し、具体的な案を示そうとすれば、そのことが必要という判断に至ったところです。</p>
委員	<p>今の話を聞いていると、既にこども園に向けて着々と進んでいる印象を受けるが、波賀幼稚園PTAとしては、将来的には、こども園になることは仕方ないとは思いますが、今はまだその段階ではないです。この1年2年でこども園にして欲しいと我々も言っていません。3歳児教育も条例化されましたし、こども園になるのは早いと思っています。運営法人の募集は今年度とか来年度ぐらいにするということは決定しているのですか。</p>
事務局前委員	<p>今の予定では、今年の秋には公募したいと思っている。</p> <p>民間でということが承認されてから公募するのなら分かりますが、ここの委員会ではまだ民間でいいとは一言も言っていません。そんな中で公募が先に来て、「ここに決まりました。ここでいいか議論してください。」となってから、手を挙げているところにノーと言うことは、ものすごく勇気があることだと思います。既成事実を先に作ってしまえみたいな感じがものすごくあって、今までのこの委員会の流れがどこに行ってしまったのかという思いがものすごくあります。私は第1回から参加させていただいていますが、その時からずっと公立という声も半分以上あり、市の方は民間と言われます。その思いも分かりますので、話し合ってくださいとい</p>

	<p>うことで、妥協点が見つければ進めましょうという話でしたが、妥協点が見つかる前に、民間ありきで話が進んで行ってしまうのではないかという風に思ってしまう。少ないから一つにとられることも分かるが、少ないから一つにすることが地域活性化につながるかどうかは不安で、少ないからではなく、少ない子どもをどう育てていくかという議論が大事だと思います。少ないから一つにしまえと言われると、少ないのがすごくダメな事に聞こえてしまう。</p>
委 員	<p>千種を見せてもらって、問題点がたくさんある様に思いました。もっともっと聞きたいことがあり、栄養士の栄養管理、養護教諭とかたくさんおられる中で、どれだけ機能しているかということ、園長先生にもっと聞きたかったが、そういうことを議論しないまま、最終的には教育委員会が決断すると言われたら、今まで話し合ってきたことが何にもならないし、千種に1回行って幼稚園に行かれていた保護者からの意見を聞いたが、保育園の保護者の意見や、市からの派遣された園長先生の話も聞いていないのに、いきなり進行してしまい、意見を言う場がない様な進め方になっている。せっかくの委員会が、昨年と同じ様に話が飛んでしまい、前回は納得しないままに、モヤモヤしながら1年間が終わってしまった。前回と同じにならない様に、新旧の委員合同で話し合いをしてスタートしましょうということだったが、話す間もなくルートができてしまっている。本当の波賀の認定こども園の夢を描くことが途切れてしまうので、意見を聞きながら進めて欲しい。教育委員会はすごく強引のように思います。</p>
事務局	<p>強引に進めている訳ではなく、最後の委員会でも、幼保一元化を進めるということは確認して終わっています。平成26年9月の文書でも幼保一元化は委員会として進めるということは継続した意見だと思います。それに、こども園について不安があり、それを解消するということは、今の話し合いではなかなか難しいということは、皆さんもそうお考えではないかと思います。具体的な運営法人がない限り、その不安は拭い去れないのではないかと思います。市としては運営法人を公募し、一緒に不安を解消して行こうということで、今回の公募を行います。これまで、なぜ波賀からという意見もありましたので、市内全域で一斉に公募を行うということで、波賀だけではなく、一斉にやっているということとなり、ご理解もいただけるのではないのでしょうか。</p>
会 長	<p>波賀も含めて公募するということは思い違いをしていた。当然今までの流れでは、選定した後の意見を聞くというのではなく、公募する前に意見を聞くものと思っていた。私も進み過ぎかなと思います。現状の中で、教育委員会の方針で責任を持ってやるということになれば、この委員会でどう</p>

	<p>すべきかという方向性も考えていかなければならないと思う。これまでの委員会の意見が理解されていないやり方かと思しますので、これから協議を進めるうえで、重要な問題だと思えます。市内一斉に公募することは決定事項ですか。</p>
事務局	<p>その方向で行くことは市の方で決まっています。</p>
副会長	<p>皆さんは、それが強引過ぎると言っておられる。</p>
会 長	<p>市の方ではそうかも知れないが、今の状態の中で、選定委員会で基準に合</p>
	<p>っていますと判断して、後は委員会でやってくださいでは困る。</p>
委 員	<p>資料の内容が分からない。公募すれば、みどり保育園が手を挙げるのだろ</p>
	<p>うということは察しました。僕らは、私立でないと困る。土曜日も見ても</p>
	<p>らえないと困る。公立派の皆さんに喧嘩を売る意見かもしれませんが、公</p>
	<p>立ってそういうことでしょ。</p>
他の委員	<p>公立でも土曜日も見てもらえます。</p>
委 員	<p>違うのですか。それならいいです。僕はひかり保育所とみどり保育園に子</p>
	<p>どもを預けたが、ひかりは朝 7 時からから受け入れてくれていた。公立で</p>
	<p>も 7 時から受け入れてくれるのなら、僕らも賛成です。夜も 6 時半や 7 時</p>
	<p>までの延長保育料がなければすごくありがたい。みどり保育園は夜 6 時を</p>
	<p>回れば延長保育料が掛かる。余分なお金を掛けないように仕事を早めに切</p>
	<p>り上げたりしている。ひかりは夜 7 時まであずかってもらっていた。時間</p>
	<p>の融通が利かないなら私立にしてほしい。家庭の事情により、子どもだけ</p>
	<p>ではなく親にも優しい園にして欲しい。</p>
会 長	<p>市内一斉公募の話に進んでいたけれど、本来の認定こども園の話に戻して</p>
	<p>もらった様な感じでありありがとうございます。幼稚園側からすれば子どもに</p>
	<p>関わりたいという意見をたくさん聞いたが、保育園側からすれば、関わり</p>
	<p>たいが仕事で関わりにくいという実態があり、公立でこども園を作った場</p>
	<p>合、どこまで融通が利くのかを教えて欲しい。</p>
事務局	<p>昨年の協議の中で出ている話で、この地域で民間の保育園と公立の幼稚園</p>
	<p>があり、保育園が認定こども園になると幼稚園があるし、幼稚園が認定こ</p>
	<p>ども園になると保育園があるので、二つの施設を一つにまとめないと認定</p>
	<p>こども園は認められない。</p>
会 長	<p>そうではなく、今までは公立のこども園の案はなかったけれど、もし、応</p>
	<p>募がなければ、公立の認定こども園を作ることになるので、その場合はど</p>
	<p>れぐらい融通が利くかと聞いている。</p>
前委員	<p>同じ宍粟市内の保育所に預けても、営業されている時間に違いがあり、そ</p>
	<p>れ自体が民営の保育園の実態だと思います。一宮では長く見てもらえ、波</p>
	<p>賀では何時に迎えにきてやってくださいというように、そこが民営だと思</p>

<p>会 長 事務局</p>	<p>う。公立ではそういうことは絶対ないですし、やはり公と民の違いが明らかにそこに出ていると思います。公であればそこはフォローできると思いますが皆さんどう思われますか。</p> <p>先ほどの質問と併せてお願いします。</p> <p>宍粟市内に5つの公立の保育所は延長をおこなっていません。土曜日は保育をしています。法律で定められた最低の基準を守って実施している。宍粟市としては、保護者の働くニーズに合わせて、園運営を図りたいということで、延長保育や一時保育もさせていただきたいと思いますが、宍粟市幼保一元化推進計画に基づくもので、ここで平行線となっている民営化を前提としたものですので、公立のこども園については今まで一度も計画をしたことがないので、果たしてどこまでできるものか、財政的なことも含めて協議が必要かと思います。ただ、この場で諮らせていただいていますのは、波賀地域での幼保一元化で新しいこども園を一緒に作りましょうというもので、千種で協議してきたのは、朝何時に開けて何時に閉めるというのは、協議会の中で決めていただいたことで、今のみどり保育園さんをお願いしようというスタンスではなく、保育園も幼稚園も閉じて、新しい園を作ろうというもので、ここで、建設的にご意見をいただいて、足りない部分があるなら、補う形で、この地域に合ったこども園ができるという風に思っています。</p>
<p>副会長</p>	<p>受け皿がない場合はどうするか。それをシミュレーションしていない。民間の受け皿がない場合は公立でもそれをクリアできるシステムを考えるべきでは。</p>
<p>事務局 委員</p>	<p>受け皿がないというのは、保育所もないという前提としています。</p> <p>一宮北中校区では公立しかないので、公立のこども園のイメージ図ができているのかと思ったが。公立では一切考えていないみたいに言われたが。</p>
<p>事務局</p>	<p>一宮北中校区でもこれから手順に基づいて公募をさせていただき、応募がなかった場合には、一宮北協議会の委員さんと一緒に一から作っていくこととなります。</p>
<p>会 長</p>	<p>今まで前提が民間だったので、そこまで進んでいないという現状は仕方がない。中身が不安ということで、公か民で平行線なので、中身の検討がされていない。千種も見て来たが、足りないのであれば、また見に行ったり、先生方の話を聞いたり、何が知りたい、分からないのかを出してもらわないと次に行けないし、そんな委員会にしていきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>野尻幼稚園からすれば人数の変化を見ても当分は大丈夫だと思いました。今のまま幼稚園と保育所が2つある方がいいのではないかと。人数が少ないのは、地域とか小学校との関わりでカバーできていたので、人数だけでく</p>

	<p>つけるのではなく、もっと大事なのは、この委員会で納得できる形ができるまで他の、千種や一宮北の様子を見て、良い所を取り入れて作らないと、メリット・デメリットの中でデメリットの選択肢がないのはすごく怖いので、もしできてしまってからやっぱりあかんかったでは、波賀に住んでいる人は困ってしまうし、これから波賀に住もうと思っている人もどんどん少なくなっていくと思うので、本当に慎重にしなければいけないと思う。市で一斉公募が平等ではなく、波賀はゆっくりじっくり見て一つのこども園にしていくことがベストだと思います。山崎や他の所は、こども園にしてみても、他の所もあって選択肢がある中で進めていったらいいと思います。波賀は選択肢がないという所を重く捉えていただいて、進めていただきたいと思いました。</p>
会 長	<p>一つ分からないのは、選択肢って何かということで、小学校、中学校は選択肢がないですが、昨年に小学校が統合で一つになり、北部の人が、人数が多い中での発表会はええなと言っていたが、野原と波賀の違いはありますか。</p>
委 員	<p>野原は野原の良い所があり、波賀で人数も増えたことによっても良い所があり、それぞれにいい所があると思います。でも、幼児教育の段階では、人数よりも先生との関わりとか、こども同士で切磋琢磨することよりも、自尊感情を高めてあげたいという面では、人数よりも質を優先してもらいたい。人数で見れば、あと3、4年は先でもいいのではないかなと思う。</p>
会 長	<p>3、4年大丈夫といっても、今、しましようとなっても、すぐにはできず、施設ができるまでには時間がかかる。</p>
委 員	<p>今、すぐではなく、今年、来年とゆっくり中身を話し合っ、これでいいと思ってからでも、子どものことなので、それぐらい慎重にしてもいいのではないかなと思う。</p>
前委員	<p>去年1年間参加しましたが、全部民営化の資料ばかりで、公立の資料が1枚もないため比較ができない。公立の資料があるなら出して比較できるようにしないと話がまとまらない。そこで、公と民の良いところを寄せ集めてこども園を考えないと、交わる場所がない。</p>
副会長	<p>市も教育委員会も議会も出しているのは、民で行くことは決まっている。その説明責任を果たすべき。委員会で公立にできないなら、そのことを真摯に丁寧に説明したらいいのでは。市は他の答えを持っていない。去年からずっと同じことの繰り返しで、公立の受け皿があるのかということ、そのことは想定していないと言い、職務怠慢ではないか。</p>
事務局	<p>保育を必要としているご家庭にはみどり保育園があり、幼児教育を必要とするご家庭には波賀幼稚園があり、待機児童が発生していない、定員割れ</p>

副会長	している状況で、この地域で公立のこども園を作って、保育を必要とする子どもを受け入れるということは考えられません。幼稚園と保育園が一元化して認定こども園に移ることしかこの地域では方策はありません。
事務局	仮に、こどもが5人になっても民間の保育園でもきっちりとした保育をしてくれる担保はあるのか。公立なら、5人でも先生を2人でも3人でも配置してくれるが、民間でも市が責任を持って同じ対応をしてくれるのか。
副会長	少子化で定員割れすることが予想されるが、現時点では、この区域を一つの区域として考えているので、今回の幼保一元化で出来上がる施設については、将来的には、市が責任を持って赤字を穴埋めするような支援が必要であると考えています。
事務局	先般、自治会で若桜町へ行ってきたが、小学校9年生という学年がありました。つまり、小中一貫校ということです。そういう自治体があるので、若桜町が3,600人ぐらいの人口で、波賀町が3,700人ぐらいなので、一宮町と一緒にならないということは信じられない。
委員	それは、この幼保一元化とは別の、もうひとつ大きな区域での話し合いが必要になるということです。
事務局	市はお金を出しても赤字経営を担保するということですが、そうではなくて、運営側が止めたい、手を引きたいとなればどうなりますか。
委員	その場合は、最終的な責任は市が持ちます。
事務局	市が責任を持つということは、公立ですということですか。
前委員	そういうことになります。
会長	だから、不安があるから、最初から公立で行かれたらどうですかと言っているのです。
前委員	ちょっと教えて欲しいのですが、公立は安心感があるからいいですが、今、保育園運営をしている民間の園がある中、公立でとなれば、その人はどうしたらいいのでしょうか。それは知らないでいいのでしょうか。それも含めて議論をする必要があるのではないのでしょうか。
会長	私、姫路出身なのですが、民間が1つしかないからなのです。ここにも民間が2つあったらどうですか。2つ潰れますよね。1つしかないからという攻め方をされるのは、公立の者にとってはしんどいのですが。
前委員	市がこども園を公立で行こうとして、民間がつぶれた時にどうなりますか。そういうことも含めてどうすべきかを視野に入れて欲しい。波賀だからこの悩みがあるのです。
	だったら、山崎から先にさせていただいて、こっちはよそを見たいと言っているので、公募とか、前に進まなくていいというのが去年からの幼稚園のお母さん達の意見なのです。

会 長 前委員	それは、無責任で、ひとつも中身の話ができていない。 だったら公立の中身の話も作ってもらって、みんなに見てもらいたいです。一度公立のこども園を見せてもらった時に、「私達は市全体で子ども達を育てるためにこども園を作りました。宍粟市もそうなければいいですね。」と教育委員会の方に言ってもらいました。今、宍粟市の教育委員会の言われていることは、そことはかけ離れている様な気がします。
会 長	それをどういう形にすれば円満に解決できるのかをここで議論してほしい。公立でないとダメというのではなく、どうしたらここで公立が生まれるか、それも含めて、今、施設が2つある中でどうすればよいのかを協議してほしい。
前委員 会 長 前委員 会 長	それを宍粟市の教育委員会がしてくださるのなら話は変わると思います。今回は、はっきり、受け皿がなければ公立でやりますと書いてあります。受け皿があった時はどうなりますか。 それも含めて、どうしたら公立ができるかということになれば、違う話になるが、それをしないで公立だけでやってほしいと言えば、話は平行線になる。どうしたら公立になるかということも一緒に考えて欲しい。
事務局	昨年から同じことの繰り返しになりますが、純粋な民間であれば、先ほど言われていたことでいいのですが、あくまで認可保育所ですので、運営費は全て市費で支払いをしている認可保育所なので、私立ではありますが、全くの民間という訳ではなく、あの保育園がある限りはこの地域で重複する園を構えることはありません。
前委員	公費で賄っているのですよね。公立を閉めるのもみどり保育園を閉めるのも同じ理屈にならないか。民間を圧迫するという言い方がおかしいのではないか。同じ公費なら幼稚園はなくなっても大丈夫でも、みどり保育園がなくなるのは困るということがよく分からない。どちらがつぶれても同じではないか。
会 長 前委員	社会福祉法人という相手があるが、幼稚園は市の直営の違いがある。相手の意思があるので、同じレベルで考えるべきではないと思う。 何が違うかを突き詰めて考えていくと、同じ公費でも、トップが嫌だと言って止められるのが私立で、それを止めたときに担うのが公立なら、もともと心配要素を取り除いた公立でしていただだけませんかと言っています。
会 長 前委員	どの様にしたら一つに結びつきますか。 前にも言いましたが、幼保連帯型とか色々な形があると思います。幼稚園時間の子は幼稚園部門を受けて、足りない部分は保育園で1時間2時間見ていただければ、今の幼稚園のお母さん達はきっとこの状況で満足しているし、何回もお母さん達に集まってもらって意見を汲んで持ってきていま

会 長 事務局	す。 幼保連携で2つの機能を一つにするという意見もありますがどうですか。 制度上の話ですが、認可保育所は 11 時間開所することが義務付けられており、幼稚園は 4 時間の教育標準時間ということが義務付けされています。この部分は時間が重なっているため、午前中に幼稚園に行き、午後から保育園に行くというあり方は全く考えられない。無認可で全額市単費であれば話は別ですが、やはり限られた財源を有効に活用するという中では、市としても幼稚園、保育所の規定を守らないといけないので、そういう形ではできないと前日も報告させていただいています。
前委員	どちらかが引かないと一つにならないと言われましたが、公募するなら、1園とは限らないので、その方法がいいとは言っていませんが、仮に2園が応募したらどうなりますか。どちらかが潰れることにはなりますが、どうなりますか。別の園が選ばれたら、そこがみどり保育園を圧迫しますよね。ということは、公募と書いてあるが公募じゃないということですか。
事務局	理論上では、今ある区域に他の地域から入ってくることは、市外参入を認めた場合はありえるかもしれませんが、市内では現実的にはないと思っています。ただ、山崎では、今町内に固まっているので、それが外へ出ることがあるかもしれませんが、他の区域では現実的ではありません。
前委員 委 員	公募ということ自体がずれているような気がします。 疑問ですが、私立になっても丸投げしないとすると、お金の管理等はどうなりますか。
事務局	お金の管理は社会福祉法人がしますが、指導監査という形で市も関わっている。
委 員 副会長	保育園のお金の管理に疑問な点や不安があります。 コンプライアンスも含めて、透明性が確保されていないと言われているので、きちんと対処しないといけない。
委 員	ワンマン経営でなければ、民間のこども園でもうなずいてくれる方も増えるのではないかと思う。
事務局	市として提案しているのは、理事会の中に市の職員も入るし、4者運営協議会ということで、保護者と園に加え、地域の代表と市からも入って、4者できっちり運営ができていないかチェックをして確認をしていこうというもので、今の保育園にお願いするのではなく、両方ともゼロから、協議会の委員から意見をいただいて、新しいこども園を作っていこうとするものです。
委 員 事務局	ということは、秋ぐちの公募は決定ですか。 市としては、何とか動きを作って具体的な提案をしたいということがあ

委員	り、その中でまた判断をしていただきたい。
事務局	幼稚園としましては、こども園にするには時期尚早ではないかと前々から言っているのです。人数が少ないからこそ、公立ならではの質の高い教育が受けられるので、どんどん進められても、現状では我々としては困る部分もあります。
会長	より具体的な議論をさせていただくために、進め方の工夫をさせていただきたい。基本的なところで、運営のあり方と、実施の時期について、この委員会に諮らせていただくというところは全然変わっていないので、幼稚園として、幼保一元化の必要性がないということであれば、それはそれで、この地域の委員会のあり方として、こちらが強制的に進めようとしている訳ではない。こちらがより具体的な資料をこの場に提供させていただこうということだけなので、その上で判断していただければと思っております。
委員	ということは、公募と選定まではします。運営のあり方や実施時期は、この委員会で判断してくださいということなので、選定はしたけれど、この委員会でまだ必要ないですとなれば、宙ぶらりんになる訳ですか。
会長	公募を先にしたら、その決まったところに失礼になるので、公募を急ぐ必要があるのですか。3年後、4年後かもしれませんが、公立・私立関係なく、こんな中身の園にしましょうということはこの委員会で話し合っておいて、良いものができそうだとってからではダメなのですか。公募してしまったら進んでしまいますよね。
事務局	委員会で受け入れませんという結論になれば、宙ぶらりんのままになるし、相手に悪いようになるし、この委員会も責められるし、それも困ったことになる。
副会長	期待に応えられる様な提案はさせていただきたいと思っております。
会長	あなた達がしようとしていることに、もっと説明責任を果たしたらいい。これだけ反対がある中で、公募して委員会で却下になるなら、立場も悪くなるし、それならこの委員会を一度解散して新たにやり直した方がすっきりする。
事務局	公募に対して、説明不足があるようでしたら、波賀だけずらすという様なことも検討してみます。
前委員	公募の件について、山崎の地域の方には了承は得られているのですか。
事務局	山崎は地域の委員会ができていないところがあります。
前委員	市内一斉にと言われましたが、一斉にならないのではないですか。委員会がないところはしないし、あるところはするでは、一斉ではないのでは。
事務局	委員会がない地域も一斉に公募して、運営法人が決まった段階で、地域に

	<p>出て行くということで、それから委員会を作るということです。「この地域にはこの法人が応募されており、こういう運営計画が出ています。」ということで説明させていただきます。地域によって進むスタートラインが違ふということです。</p>
前委員	<p>山崎幼稚園や河東幼稚園など人数が多い所もこの秋に公募するのですか。</p>
事務局	<p>それで、幼稚園に行って、ここに決まりましたと説明される訳ですか。</p>
委員	<p>そういうことです。</p>
事務局	<p>公募なので市内一斉にしないと、波賀町だけしたら波賀町では一つの保育園しかない。市内全域にしないと公募にならない。</p>
事務局	<p>先ほど課長が言いました様に、一次公募をして、運営法人が足りない地区も出てくると思います。その所は、再度募集をするという二段構えで考えています。</p>
委員	<p>そうやっても、波賀町は一つしかないのだからだいたい確定しているのでは。</p>
事務局	<p>そうなると思います。</p>
委員	<p>この委員会は何の役目があるのですか。</p>
委員	<p>反対しているのに、それでも公募されるというのは、私達の意見は通らずに、秋ぐちの公募をされるのですか。</p>
事務局	<p>運営法人が決まりましたら、その運営法人と一緒に地域の委員会で説明させていただきます。</p>
委員	<p>その法人の方がいらっしゃって、私達はその方から説明を受けて、その時に私達は「ダメです。」とその方に言うのですか。そういう様な立場を、決断を私達がしなければいけないのですか。色々計画してこられるのに、今の状態では、幼稚園は様子を見てるので結構ですということをお私たちがその人に言う場になるということですね。</p>
事務局	<p>判定のストーリーとして、まだそこまでは考えていません。</p>
委員	<p>考えてないですけど、そうなりますよね。</p>
副会長	<p>6月中旬に新聞報道が出て、恐らく運営をしようとする方は、既に色々な手を打っていると思います。要項も出ているか出ていないか知りませんが、民業圧迫という観点で、プレッシャーがかけられているということはありませんか。去年はあると聞いた。民業圧迫論が出ているから、最大限に公募の窓口を広げてしまおうということ。6月に新聞報道が出ているので、色々なデータを集めて恐らく市への何かのコンタクトがあるはず。</p>
事務局	<p>私の知っている限りでは、それはない。</p>
副会長	<p>民間にできることは民間にと行って、公立でやろうとしたら、私達の仕事がなくなるというプレッシャーがないのかを聞いている。</p>
事務局	<p>プレッシャーというよりも、今まで市の業務を担っていただいた社会福祉</p>

会 長	法人を守るのは市の責務と思っています。 先ほどからのスケジュールで行けば、選定をしてここが候補者となった時に、地域の委員会に諮るとなれば、今までは運営のあり方、時期、場所の3点を決めるという話でしたが、今日の説明ではそれを越えた判断をたくさんしなければいけなくなるので、それは荷が重過ぎるというか、そこまで責任が持てるかなと思う。本来は、協議会に入るべきであると思う。
副会長	今、会長が言われたが、役職がなければ私も委員会には来ない。学識経験者の方もおられるが、委員は替わるし、その中で最終的な判断をしろと言われても判断できない。初めから関わっていない人が判断して責任まで言われたら困る。この会は、何回協議をしたというパフォーマンスに過ぎない。市はこういう方向で行くので、それに合う様にしてくださいということでしょ。そうでなければ、ちゃんと的確な判断をしてイエス・ノーを言える人間が一人もいない。責任があってないようで、任期が来たらPTAの人も替わって、次の人が来たら、今まで何の関わりもなかったし、内容も分からないのに、どうして判断しろと言うのですか。
前委員	12月に杉の子こども園に視察に行かせてもらったのですが、幼稚園部のお母さんが不安に思われていたことがいくつかありましたよね。あれから半年経ちましたが、どの様に改善されたかお伺いしたいのですが。
事務局	日々の園運営の中で改善に取り組んでいる。常に保護者会と一緒にあってどういう風に進めて行きましょうと相談し、4月には、保護者会の会長さんに、教育委員会が責任を持って立ち上げたものなので、保護者との面談をさせていただいた方がいいですかと確認したのですが、気が付いたことは全部園の方に伝えて、一緒にやっていますので、現段階で教育委員会に直接保護者会として、どうこうして欲しいということはないですと言われました。要望があればいつでも言って欲しいと伝えています。
前委員	午睡をされている子どもの為に、静かに出てくださいと言われるのがすごくつらいと話されていたのですが、その辺はどうなっていますか。玄関ホール横の部屋で寝かせていますと言われていたのが、すごく気になっています。
会 長	そういう意見は、施設を作るうえでものすごく役に立つと思います。どういう配置がベストだろうという形で、同じものが出来る訳ではない。
前委員	だからその都度親の意見を聞いて解決してもらおう様お願いします。
会 長	中途半端な形になってしまいましたが、予定の時間が来てしまいました。本来もう少し議論するべきではないかという話も出ているし、こども園の公募の方法の部分で、結論が出ないままになってしまいましたが、これは次回への持ち越しということで終わりたいと思いますが、最後にこれだけ

前委員	は言っておきたいということがあればお願いします。
事務局	これで本当に最後になりますが、今日聞いてびっくりした強引な進め方をまずもう一度見直すことを約束していただいて、次回から新しいメンバーと去年からの続きの話をしていただくということを、教育委員会の部長から約束いただいてこの場を去りたいと思います。
事務局	色々ご意見をいただきまして、取り組みに生かしていきたいと思いますが、決して強引に進めているとは思っておりません。何度も言いますが、不安を解消するためには、我々だけでは無理だということで、その為には、運営の法人がないと解決しないと思っています。幼保一元化自体は皆さんにご理解をいただいていますので、それを進める為には、公募して運営法人を決めたいと思っています。やり方について、細かいところは検討しますが、方向としては、公募させていただきたいと思います。
委員	これだけ反対が出ているのに、公募するということで決定ですか。
事務局	反対の方だけではないと思います。
委員	そうですが、これだけ反対ですという意見が多いのにされるのですか。
事務局	市内一斉にというところは説明が足りないのかなと感じています。方法としては、公募ということで変わりませんが、時期については検討します。
前委員	山崎でまだ説明されていませんが、山崎で反対が出れば止まるのですか。
事務局	山崎は戸原地区しか委員会がありません。それ以外の地区については、公募が終わってからということになります。
会長	波賀と山崎とではスタンスが違うので、それをどう取るかというのは、それぞれの想いで、波賀は波賀の問題として考えていけないといけない。
委員	時間が来ているのは分かりますが、ここで公募しますと言って帰られても困ります。
会長	次回は、公募する前に集まっていたきたい。
委員	公募の前に集まったとしても、結局それは止まらないのですよね。
会長	止まらないけれど、この委員会で結論は出さないといけない。
委員	これだけ公募に反対の意見があるのに、それが反映されないのは、何のためにここに集まったのか、市民としてすごく残念です。反映してもらえらという気持ちで、幼稚園の話聞いて代表でここに来ているのですが、これで公募があったら何のための委員会ですか。
事務局	市としては、幼保一元化による認定こども園の不安を解消するために公募して、運営法人を決めて説明したいということで進めています。
委員	今、その段階ではないという話になっていると思います。
委員	公募する方が余計に不安になるのですが。
事務局	このまま進んでしまうのではないかという不安ですか。

会 長	相手が決まったら、委員会の立場はどうなるのかといえば、整理ができていない段階で、先にされてしまったら困る。
委 員	公募してしまったら、この委員会はその運営法人の可否を決める委員会になってしまいますよね。
会 長	それはする必要がない。
委 員	幼保一元化に納得していると、先程言われましたが、それは、遠い将来の話であって、今じゃないと意見を聞いて思ったのですが、今年9月に公募するというのは、全然話が重なっていないと思います。
会 長	そのへんの判断が考慮してもらえるのかここでは結論が出ないと思います。
委 員	何時間もかかって、波賀町の為に色々な意見が出たと思いますが、最終的に部長から、公募は決まっていますと言われたら、何の会だったのですか。この意見を波賀町の為に大事にして欲しい。これは絶対に変わらないのですか。
事務局	全体ですということ、市の方向で決めています、波賀の中でこういう意見が出たということで、波賀についてはもう一度考えないといけないと思います。それ以外は進めなくてはいけないと考えています。
副会長 前委員	波賀だけ公募を延期してもらおうようなことはできないのではないかと。前と同じ話し合いが出来ると思ってここに呼んでいただいたのに、急に公募の話になって、協議会が立ち上がったからの認識で来ていますので、また、新しい課題をもらったみたいで、どうさせてもらったらいいですか。さっきも言われた様に、幼稚園も3年、4年したらお母さんも替わります。私達は、上の子が一番下から幼稚園を抜けてしまうので、新しいお母さん達と、7年も8年もずっと親同士で話し合っ、今回のこともこういう話をしますと納得していただいて、幼稚園側としては、もう一度同じ話し合いに行ってきますと伝えていきますので、次は教育委員会から同じではなかったという説明をしなければいけない。完璧に約束が違う。
会 長	たぶん、これから教育委員会の内部で検討されると思うのですが、聞いてもらえるかどうかは別として、今日結論を出すのは無理があるので、宿題として、次回をどうしましょう。公募以前には開かないといけない。
前委員	今まで何の話し合いもなかったのが不思議なのですが、初めは5月と言われていたのに、それがここまで延びて、9月に公募と言われても、幼稚園側としても、親としても心の準備ができません。
事務局	公募の予定としては、8月1日から9月末を予定しています。
会 長	そうなったとしたら、また委員会で決めましょう。
副会長	何を決めるのか。何を協議するのか。

会 長	市との関わり方を決めたらいい。意見を聞いてもらえないのなら委員会は意味がないので解散もある。
事務局	検討しているのは、公募の時期をずらして理解を得るということ。
会 長	しかしながら、無責任に先延ばしにする訳にもいかない。この委員会の人もそれなりの責任を持つ覚悟がいる。
委 員	今日の意見を持って帰って、検討しますと言われて、聞いてもらえなければ、8月1日から始まるということですか。
事務局	それは、今、次の委員会に諮ると言っていますので、8月1日にはまずできないと思います。
委 員	それをはっきりできないと言ってもらえるならいいのですが、検討してみるのだから分りませんか、曖昧なことを言われて8月1日から公募が始まりますでは困りますので確認しておきたいです。
事務局	それは、市全体の方針であって、この場で、私が一人で決定することはできませんので、検討しますとしか言えません。
委 員	前回の会議の中で皆さんが色々な意見を言われましたが、公募という言葉は一つも出てこなかったのに、今日、来たら突然公募でしょ。会議内容の報告はちゃんとしていただいたのでしょうか。会議録を見て、それを無視して突然公募という言葉が出てきているが、会議の内容を報告して、検討していかないと、まだ波賀はそこまではできないと判断してもらえなかったのでしょうか。
事務局	報告はしている。しかし、不安があるので、市の説明では限界があるということから、公募して運営法人を決めなくてはその不安を解消できないということからの提案ということをご理解いただきたい。
委 員	それは、逆に不安です。
事務局	違う意味で不安だということによく分かりますが、前回の会議で出てきた不安を解消するために市が取れる方法だと思います。
前委員	そもそも、市の説明だけでは不安が解消できないので、法人に説明してもらおうというのが丸投げの様な気がします。市がこれだけのプランを持ってきてこれでやらせてくださいと言うのではなくて、民間さんにそのプランを出してもらって、納得してもらいたいというのは、そこからして丸投げの様な気がします。
事務局	民間がここへ来てということは、まだ考えておりません。現時点では、みどり保育園と我々が波賀の区域を一緒に考えましようとは実質できないので、まずは選定をさせていただいて、その中で一緒に提案させていただき、悪いところがあれば、そこを直させていただきたいという思いです。
会 長	それは、そうなった時は、委員会としてどういう風な関わりをするかとい

<p>事務局 委員 事務局 副会長</p>	<p>うことを決める必要がある。今までの内容と変わってきているので、方向性によっては、関わり方の問題が一番になる。</p> <p>8月1日の公募は、波賀はちょっと難しいと思います。</p> <p>公募はかけられるということですか。</p> <p>8月1日は難しいですが、その次のことは今の段階では言えません。</p> <p>公募することについては、宍粟市議会本議会で教育長が答弁されている。教育委員会も含めてそれなりの指示のもとで決まるので、今ここで、公募するとかしないとか延ばすとかを返事することは難しい。</p>
<p>委員 会長</p>	<p>それは分かります。</p> <p>結論を聞きたいのは分かりますが、今日は、結論が出ないので、次回に先延ばしさせていただきます。今後は、公募という話が出てからは、関わり方が大きく変わるので、どの様な関わり方ができるのかということも議題に挙げていかなければならないと思っています。なかなか次のスケジュールが見えにくいので、教育委員会の方向性が決まった段階で、ある程度判断して、次回の会議を決めさせていただくということによろしいか。</p> <p>公募は、教育委員会の判断になるので、するかもしれないし、しないかもしれませんが、それは分かりません。ただ、公募したのでこの委員会で図ってくださいということは言えない状況になってきているので、その辺を調整していきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今日は何の会だったのですか。みんなが一生懸命波賀町のことを思って意見を言っているのに、教育委員会はそれを協議していただける土台にも乗れなかったということですか。</p>
<p>事務局 委員</p>	<p>今日の会議としては、1回目ということで引継ぎができたかと思います。</p> <p>引継ぎなのに、なぜ公募になるのですか。そこがみんな納得いかないと言われているので、これで終わって、8月1日には公募されなくても、盆から後に公募されたら、何だったのかと思う。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>これから先は、教育委員会の判断となります。教育委員会がどうするから、こちらもどう考えるかということになります。それしか仕方がない。</p> <p>幼稚園のPTAとしましては、公募は納得できたものではないということはお理解願います。</p>
<p>事務局 会長 副会長</p>	<p>分かりました。</p> <p>次回の日を決められませんでした様子を見ながら決めたいと思います。</p> <p><閉会のあいさつ></p> <p>今日だけでなく、1年間ずっと同じ話をしてきた。お互い譲るところは譲り、次回色々な知恵をお借りして、納得できる形としてほしい。</p>